

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	HIYOKO STUDY小山教室
------	------------------

公表日 R7年6月23日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		広さもあり、トイレや個室も十分に確保出来ている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		現在、利用している利用児が1日に1人のため、職員数を配置出来ている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		段差はなく、バリアフリーとなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の掃除に加え、アルコール消毒を行い、感染症対策等を実施している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		子どもの状況に応じて、居場所を提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	目標設定を行う際は、スタッフ間でも共有し、職員が把握出来るよう工夫している。	目標に対して実行しても振り返りがスタッフ間で出来ていない。 もう少し時間が取れればと思う。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表をお渡しし、意向を受け入れている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	話し合いを行い、業務改善につとめることができるよう努めている。	話し合う時間はとっているが、もう少し時間が必要かと思われる。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部の方からの意見をいただき、改善点を確認している。	第三者からの意見をいただく機会が少ないので、増やしていかなければと思う。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		支援に対する研修を受講している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		スケジュールや活動内容をHPにて掲載している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		保護者からの意見を含め計画書を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの福祉の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者のみならずスタッフ全員で話し合いを行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		スタッフ間で共有し、日々計画書を確認しながら支援を行っている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメントの確認を行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	ねらいを基に支援内容を考え、具体的に支援を行なえるよう設定している。	支援内容が抽象的な部分もあるため、改善していきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	日々の活動内容やスケジュールを担当に人をメインにチームで行っている。	立案をチーム内で考える事が出来る時間を増やしていきたい。

供 与	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2	同じ活動を行う際は、期間を空けたり利用児がかぶらないようにしている。	活動を被らないように事前打ち合わせを行う。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		適正や状態に応じて活動内容を変更したり、工夫を行っている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	事前にスケジュールの提示を行っている	打ち合わせを行っているが、詳細まで確認できていないこともあるため改善していきたい
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	時間が取れる際は行っている	毎日行なえるよう改善していく
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の記録を取ることを徹底し、支援に繋げていきたい	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い見直しを行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		主に児童発達支援管理責任者が出席している	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	4		地域の関係機関と連携を行い支援の体制を整えている	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		移行の際や通所している保育園等と支援内容や利用児の様子を共有している	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		学校に通学する際は支援の内容や様子の共有を行っている	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		地域の児童発達支援センターとの連携を図り助言を受け意見等を取り入れている	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		保育所や地域の施設との関わりを作る計画が出来ていない
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の様子を送迎時等でお伝えしている	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		保護者に対して支援プログラムを行うことができない
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		支援プログラム等の説明を行っている	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもや保護者からの要望をできる限り取り入れる活動を行っている	

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		面談の際に提示し同意を得ている	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者からの意見や相談を聞き必要であれば面談も行っている	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		茶話会等を開催出来ていないため、今後開催できるように計画していきたい
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者から意見をもらった際は周知し、支援方法を考え報告等をしている	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		SNS等を通して活動の様子をお伝えしている	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の保護には十分に注意している	
	43 即答のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		情報伝達の方法を考え取り組んでいる	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		自施設に地域の方を呼んだり交流する活動は行なえていない
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを理解し周知している	
	46 災害総合計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		非常事態の際にどう行動するか訓練を通して確認を行っている	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			おやつの提供を行っていない
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		職員が転倒しないよう突っ張り棒等を使用し安全管理に努めている	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	周知は少し足りないと感じる	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事業所内だけではなく、会社全体で共有し再発防止に努めている	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修を受講している	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		契約時や面談に説明を行い同意を得ている	